

園内に咲き誇るバラに魅了

4月23日から5月29日まで、石橋文化センターで「春のバラフェア」が開催されました。未来をテーマに、3年後の自分や大切な人へ手紙を送るメッセージボードポストを設置。「希望」など前向きな思いが込められた新品種など400種、2600株のバラが咲き誇りました。訪れた左田節子さん（福岡市）は「初めて来てあまりの美しさに驚きました」と話しました。



久留米ゆかりのアーティスト作品とジャズやポップスの演奏を楽しむアートコラボレーションは初企画

資料が伝える江戸の久留米

有馬記念館で「大名有馬家と久留米城下町」展を開催中です。有馬家と城下町の人々の暮らしに焦点を当てた展示。有馬家に伝わる刀剣や徳川家とのつながりが分かる書状も見ることができます。文化財保護課の大塚麻理子学芸員は「有馬家ゆかりの品や城下町跡の出土品から、江戸時代の久留米を感じてほしい」と話しました。6月15日(水)から展示の一部を入れ替えます。



11代藩主有馬頼咸の正室・精姫の婚礼道具である薙刀拵（なぎなたこしらえ）も展示しています

一日園長が命名式で発表

子どもの日の5月5日、市鳥類センターで、小学生が一日園長を務めました。公募で選ばれた柴田光輝さん（宮ノ陣小6年）、高橋龍ノ介さん（南薫小4年）、原里伊奈さん（鳥飼小4年）の3人。さっそく来園者の前で、昨年11月に誕生したケープペンギンの名前「ペンタ」を発表しました。続いて園内放送をしたり、リスザルの生態や餌やりを説明したりと大忙しでした。



命名式で3人は、緊張しながらもケープペンギンの名前を元気に読み上げました

水害に備え高校生が土のう作り

5月16日、三潴高校の3年生93人が、土のう作りを体験しました。高校がある城島町は、昨年も水害に見舞われており、地域貢献と防災学習を兼ねて行われました。生徒たちは2人1組で、市職員の指導を受けながら、土をすくって、袋に入れました。参加した中村彩乃さんは「土が想像以上の重さで作業は大変でした。地域で活用してもらえれば」と話しました。



作った土のうは623個。最後は袋の口をしっかりと結びます

筑後川の風物詩エツ漁始まる

5月1日に、「エツ解禁と感謝祭」が城島町のエツ大師堂前で開催されました。漁協関係者など約50人が参加し、エツの恵みへの感謝とともに漁の安全と豊漁を祈願。神事の後はエツの骨切りの実演や漁の見学などもありました。感謝祭実行委員会委員長の高山良徳さんは「多くの人にエツを堪能してほしい」と話しました。漁期は7月20日(水)までです。



銀色のエツがかかった網を引き上げる漁業者。小舟が漁を行う光景もこの時期ならでは

気分は舞台スタッフ

5月4日、5日に久留米シティプラザでキッズプログラム2022「劇場のおごとたいけん」がありました。久留米座の舞台装置や音響、照明といった普段見ることのない舞台裏の仕事子どもたちが体験。本物の機材で、短い舞台作品を演出しました。参加した片山悠宇さん（金丸小6年）は「チラシを見て興味を持ちました。機材を触る経験ができて良かった」と話しました。



機材の使い方の説明を受け、実際に操作してみる子どもたち

新型コロナ感染防止の徹底を

イベントや会食などで人との接触の機会が増えています。一人一人の基本的な感染防止対策の徹底をお願いします。私たちの感染予防が身近な人を守ります。

市公式 SNS で情報発信中

災害や新型コロナなどの緊急情報はもちろん、暮らし、観光、イベント情報など生活に役立つ情報をさまざまな方法で発信中。

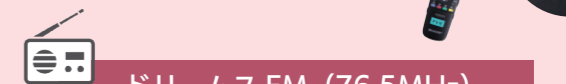
ホームページ	ライン
ユーチューブ	フェイスブック
くるっぱ ツイッター	くるっぱぐらむ

※ QR コードは株式会社デンソーウェーブの商標登録です

TV・ラジオで放送中



- ①テレビでKBCを視聴
- ②リモコンの「d」ボタンを押す
- ③市の情報を最大12項目表示



- ・広報くるめラジオ (月～金) 8時5分、12時5分
- ・キラリ*久留米ラジオ (土)・(日) 9時
- ・知るっぱ久留米 (木) 12時30分

今月の表紙 // 梅雨入り前に本番さながらの訓練



5月15日に上津小学校で、総合防災訓練を実施。土砂崩れからの救出やボートでの救助、避難所運営など本番さながらに行いました。